

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

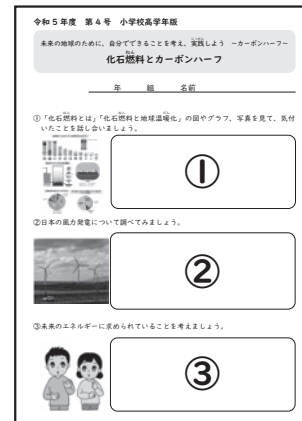
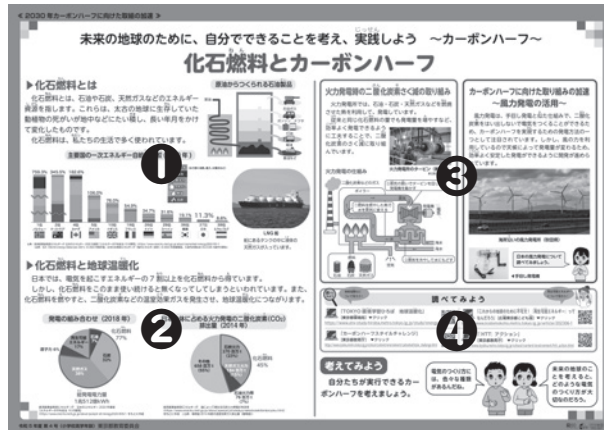
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 化石燃料とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- ・化石燃料について知り、日本はその多くを海外に依存していることを理解する。
- ・日本と諸外国の一次エネルギーの自給率を知る。
- ・化石燃料と地球温暖化の関係を理解する。
- ・カーボンハーフを実現するための、発電における様々な取組を知る。
- ・自分たちが参加できる温室効果ガス削減方法についての考え、実践しようとする態度を育む。

③本教材で扱う 主な内容

化石燃料の生成と枯渇、化石燃料と温室効果ガスの関係、日本と諸外国の一次エネルギー自給率、カーボンハーフを目指す発電の取組、自分たちにできるカーボンハーフの取組

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①②の図やグラフ、写真を見て、話し合う。	○ 化石燃料について説明する。 ○ 化石燃料と温室効果ガスの関連性や、日本の発電は温室効果ガスを多く発生させる化石燃料に大きく依存している現状など、図やグラフ、写真から分かることを発表させる。	◆ 掲示用教材①② ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材③を見て、二酸化炭素削減の取組や風力発電について知り、未来のエネルギーに求められていることを考える。	○ 日本の風力発電について調べさせる。	◆ 掲示用教材③ ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材④を見て、未来のエネルギーに求められていることを考える。	○ リンクなどを参考に、自分たちが実行できるカーボンハーフを考えさせ、話し合わせる。	◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート③ ■ 東京都環境局 TOKYO 環境学習ひろば 地球温暖化 ■ 広報東京都こども版 これからの地球のために不可欠！ 「再生可能エネルギー」ってなんだろう ■ 東京都教育庁 カーボンハーフスタイル チャレンジ 「HTT」アクション

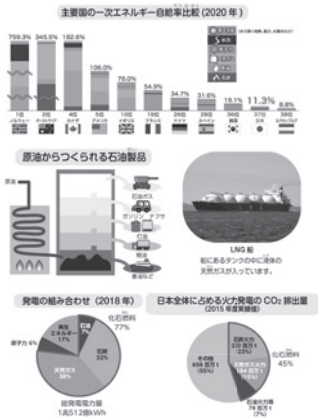


未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ^{じっせん} ~カーボンハーフ~

^{ねん}化石燃料とカーボンハーフ

年 組 名前

① 「化石燃料とは」「化石燃料と地球温暖化」の図やグラフ、写真を見て、気付いたことを話し合ひましょう。



②日本の風力発電について調べてみましょう。



③未来のエネルギーに求められていることを考えましょう。

